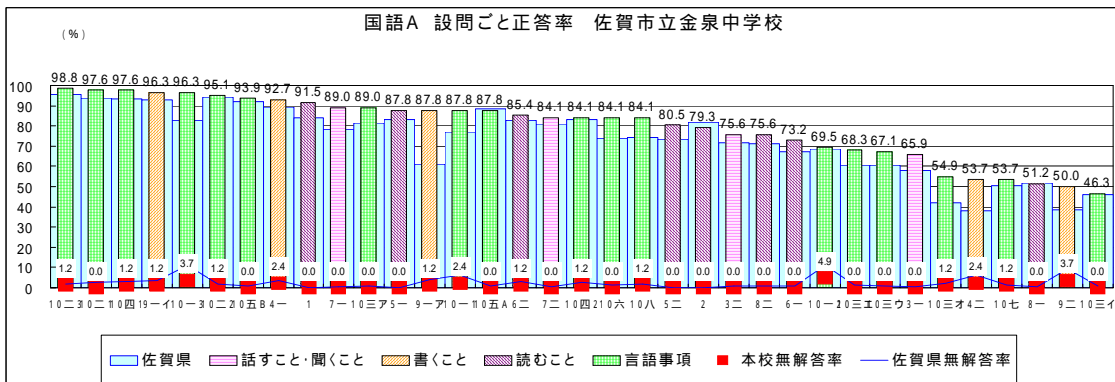


## 知識及び活用能力共に大幅にポイントをアップしました！

### [設問における本校の特徴：全国平均に比べて]

国語A（主として知識を問う問題）県平均を1としたとき1.08

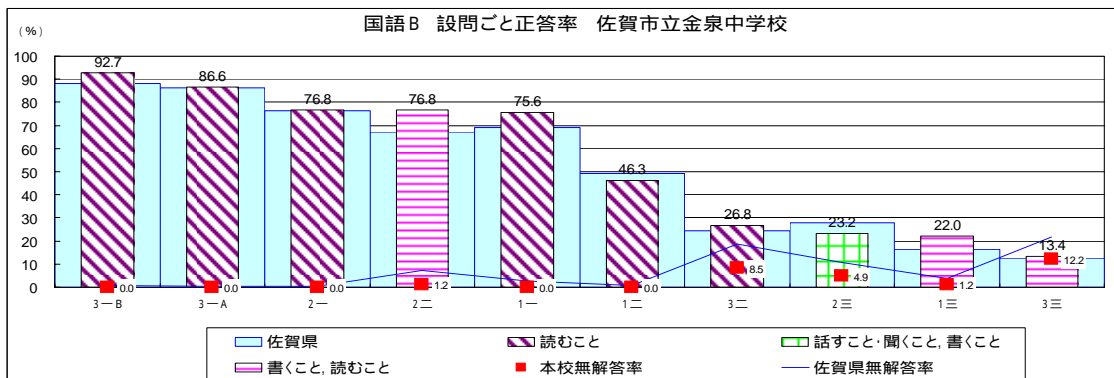
- ・県平均と比べ全体的に大変高いポイントとなりました。全領域で平均を上回っているだけでなく、設問全20問中で平均が下回ったのは2問のみにとどまりました。
- ・特に高ポイントを上げた設問はは9-A「案内文に必要な項目の名称を書く」（本校87.8 県61.0）4二「一文を二文に分けて書く」（本校53.7 県38.2）で領域としては「書くこと」（本校76.1 県64.0）でした。
- ・平均を下回った2問は「書き手が用いた証拠の不十分さを指摘したものとして、適切なものを選択する」（本校79.3 県81.8）「『鳥とは違う』カモノハシの特徴を選択する」（本校51.2 県51.7）です。



調査問題  
正答率が高いに並べ替える  
番号順に並べ替

国語B（主として活用する力を問う問題）県平均を1としたとき1.04

- ・全体的にはこちらも県平均と比べて高いポイントをあげました。しかし領域的には「話すこと・聞くこと」が県平均を下回りました。（本校23.2 県27.9）設問としては2三「資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書く」（本校23.2 県28.0）の1問が下回ったことでの結果です。この問は「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」を複合的にみるものでした。記述式でありながら無回答率は県平均より低く、書けてはいるが言葉が不足している内容であったといえます。



調査問題  
正答率が高いに並べ替える  
番号順に並べ替

### 全体における本校の特徴

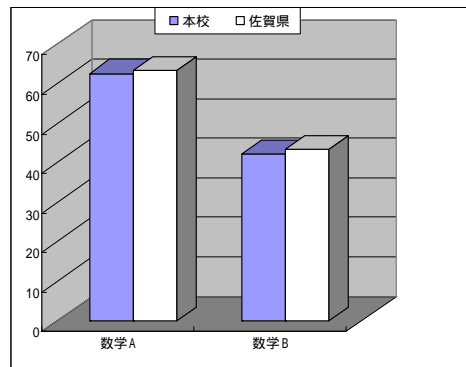
- ・国語A・B共に全国平均を上回っています。
- ・無回答率0%が30問中22問で1問も県平均を下回っていないことがこの全体的高得点につながったと思われます。

### [結果からの考察及び今後につなげて]

過去の県の学習状況調査やNRT検査等をもみても国語の学習においては平均以上の力を持っていると言えます。教員の側で指導法の工夫・改善に努めた点もありますが、家庭学習による反復学習の習慣作りができたことも大きく功を奏していると思われます。現在も漢字の習得や語彙力広げの他にも、日々の予習復習を促す指導を行いつつ、授業の中で変化のある繰り返しを意識して反復学習を試みています。今回の結果を受け、基礎・基本の力のみならず、非テキスト型の学習も取り入れながら、幅広い国語学習に力を入れたいと思います。

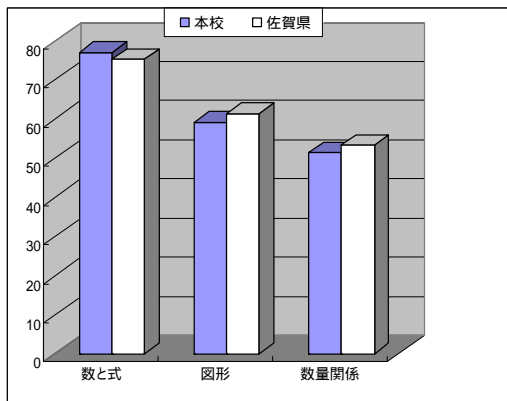
## 『数学的な見方・考え方』が課題

[設問における本校の特徴：県平均に比べて]



### 数学A（主として知識）

学習指導要領の領域では、「数の式」は県平均を上回っていましたが、「図形」・「数量関係」で県平均をわずかに下回っていました。全体的な無答率は全国よりも低く、最後まで粘り強く解こうとする意欲が多い結果がうかがえます。



・「数と式」領域においては、全国をやや上回っていました。等式の変形では、県平均を10ポイント上回っていました。

2(5) 等式  $2x + y = 5$  を、 $y$  について解きなさい。

正答率 86.6 (全国平均 76.6)

計算問題ではほとんどの問題で正答率が高い傾向がありますが、『 $210a$  で表される事象を表す問題』と『2けたの自然数を表す式を選ぶ問題』では、ともに1.5ポイント下回っており、意味を問う問題で正答率が低い傾向が見られました。

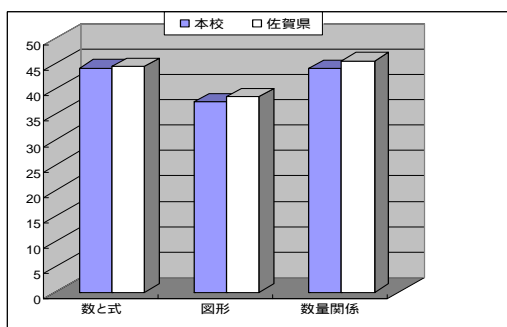
・図形領域では、わずかに県平均を下回っており、『円柱の体積を求める式と答えを書く問題』では、12.2ポイント下回って

ました。しかし、9.8ポイント上回っている問題（『多角形の内角の和の性質を問う問題』）も見られました。

・数量関係領域においては、ほとんどの問題で県平均と同等でしたが、反比例・一次関数の問題では、大きく県平均を下回っていました。

### 数学B（主として活用）

学習指導要領の領域では、全てにおいて県の正答率をわずかに下回っていました。



・全国と比較して差が顕著なものを挙げます。

2(2) 連続する3つの奇数の和が3の倍数になることを説明する  
正答率 20.7 (全国平均 30.2)

6(1) L字型の厚紙を引き出すとき、その長さと面積の関係を表すグラフの特徴を説明する

正答率 29.3 (全国平均 35.2)

上記の『連続する3つの奇数の和』の選択問題では県平均を下

回っていますが、2(3)『連続する4つの奇数』の記述問題では、5.6ポイント上回っていました。また、問題数が14問中7問は県平均を上回っていました。

全体的に「数学的な見方・考え方」の問題を苦手としている傾向が見られました。日々の授業において、学習内容に興味・関心を持たせる手立てをとっていきたい。また、数学的な見方・考え方が向上するように課題を設定し、授業展開を行っていきたい。